



### 入湯者数が350万人を突破

3月27日、舟形若あゆ温泉の入湯者数が350万人を突破しました。温泉は、平成5年の開湯以来、町内外の多くのみなさんに親しまれており、今年度は大規模改修が予定されています。

350万人目の入湯者となった高橋みや子さん(新庄市)には、花束と記念品が贈られました。高橋さんは、「若あゆ温泉が好きで週5日は通っています。従業員が良い人ばかりで、ここの雰囲気特に大好きです」と話してくれました。



### 地域で始める介護予防

3月27日、いきいき百歳体操活動報告会が中央公民館で開催され、約170名が参加しました。この日は、介護予防といきいき百歳体操について山形県密着アドバイザーの赤塚郁奈氏が講演したほか、町内5団体による活動報告などが行われました。

報告者の阿部静香さん(洲崎)は、「健康づくりに加え、体操が終わった後にお茶を飲むなど、みんなで集まる機会が増えました」と報告していました。



### VR(バーチャルリアリティ)体験

3月26日、タートルソフト(山形市)主催の「山形360パノラマVR体験ギャラリー」が、舟形若あゆ温泉で行われました。これは、地域おこし協力隊の長江亨さんが企画したもので、当日の参加者は56名。町内や県内の名所の風景が見える特殊な機械を使って、擬似的な観光体験をしました。

参加者の一人は、「マッシュルーム工場等、普段は入れない場所を体験できて楽しいです。実際に行ってみたくなりました」と話していました。



### 協力隊・支援員活動報告会

3月24日、4名の地域おこし協力隊と3名の集落支援員による活動報告会が中央公民館で行われました。加工品の販路拡大や、舟形町での生活で感じたことなど1年間の活動について、それぞれが工夫を凝らして発表しました。

このたび、2名の協力隊は任期を終えましたが、2名とも舟形町に定住することになりました。協力隊の経験を活かして、今後も活躍してくれることを期待します。



### 大きくなって帰ってきてね

3月8日、十二河原で舟形ほほえみ保育園の年中児と最上町の保育園児が合同で、サケ稚魚の放流を行いました。これは、小国川漁業協同組合と最上小国川産地協議会が、清流小国川を地域のみinnで守る意識を育む目的で企画したものです。

町サケふ化場でふ化し6cmに育った稚魚約1万3千尾を放流すると、園児たちは「元気に川へ帰ってきてね」と手を振って見送っていました。



### 「堀内ふるさと応援女性の会」発足

3月5日、堀内ふるさと応援女性の会(会長 東海林宮子さん)が、会の発足記念事業「ひな祭り～小さな演奏会～」を農村環境改善センターで開催しました。当日は、新庄吹奏楽団の演奏会やかかるた大会が行われたほか、特製ちらし寿司が振る舞われ、参加者は舌鼓を打っていました。

女性の会は、地域や自分たちが元気になる活動をしていこうと、堀内地区の有志13名で組織され、1月に発足しました。



### 舟形の特産品はんめえぞ～

3月1～31日の期間、東京都汐留のアンテナショップに、舟形産の無添加の漬物や鮎の加工品を出品しています。これは、新庄・最上地区の農林水産物を東京都内にPRし、販路形成することなどを目的に、最上地域雇用創造推進協議会が窓口となって行なっているものです。

なお、アンテナショップは、2月に町農産物等販売促進研修会で講演していただいた(株)ナチュラルアートが運営しています。



### 若者の健康づくりを支援

3月1日、保健センターにて(公社)山形県栄養士会会長の西村恵美子氏を講師に迎え、生活習慣病予防のための講演会が開催されました。

参加者は「若い世代の食生活の現状と課題」というテーマで、若者が将来自立して自分の健康管理ができるようになるための支援方法について学びました。西村氏は「若い世代の食生活について、1日3回の食事、特に朝食を子どものころから食べる習慣が大切です」と話していました。



### 真っ赤な恋活バスツアー

2月26日、舟形町結婚サポートセンターと尾花沢市結婚促進協議会「LaLaネット」が合同で企画した、真っ赤な恋活バスツアー「恋するグル旅」が富長交流センター等で開催されました。

独身男女28名が参加したこの恋活。参加者は全国のご当地グルメを味わえるすごろくゲームや、銀山温泉の散策などを行いながら、気になる異性との交流を楽しんでいたようです。なお、今回は9組のカップルが誕生しました。



### 熟練の技を競う

2月22日、舟形町老人クラブ連合会の輪投げ交流大会がB&Gセンターで行われました。これは、冬場の外出のきっかけづくりになればと町社会福祉協議会が企画したもので、約200名の高齢者が輪投げを楽しみました。結果は次のとおりです。

- 【団体】 1位 幅Aチーム
- 2位 長沢Aチーム
- 3位 紫山Aチーム
- 【個人】 1位 大場イセノ(長沢第1)
- 2位 斉藤 正一(幅)
- 3位 鈴木 昭紀(経檀原)



### 最上の一手を求め

2月11日、冬の舟形町における恒例イベントである「碁碁将棋・オセロ大会」(教育委員会主催)が、中央公民館で開催されました。この大会は、年齢を問わず、段位等のレベルに合わせたクラスに分かれて対局するものです。

碁碁bクラスで優勝した渡邊重則さん(一の関)は、「小学校のころから参加していましたが、近年出場できずにいました。20年ぶりの大会はとても楽しかったです」と話していました。



### 節分と立春を楽しもう

2月3・4日、「舟形流 春を呼び込む! 節分&立春ひっぱりうどん会」が生涯学習センターで行われました。講師にTmプロジェクト代表の叶内昌樹氏を迎え、Myひっぱりうどんすくい作りや納豆恵方巻作りを行い、総勢51名が恵方巻と山形の冬の味覚「ひっぱりうどん」を味わいました。

新たなイベントとして企画されたもので、参加者は「冬は家から出ないことが多くなるが、恵方巻など季節を感じられました」と話してくれました。

## Old Kyu News(平成29年2月)



### 農業には夢と希望がある

2月2・9・16日、町農産物等販売促進研修会(全3回)が中央公民館で開催されました。講師には、(株)ナチュラルアート代表取締役の鈴木 誠氏を迎え、参加者は、農産物加工と販売促進における手法やマーケティングについて学びました。

鈴木氏は「きめ細かい技術や作業、鮮度が要求される野菜は国産の強みであり、海外からの輸入品を恐れる必要はない」とし、品目の選定をはじめとした戦略の再構築が不可欠と訴えていました。

## Old Kyu News(平成29年1月)



### 将来への決意を胸に抱き

1月27日、舟形中学校で立志式が行われ、2年生が将来への決意を漢字一文字で披露しました。これは、元服にちなんで数え歳15歳を祝うものです。

「明」の字を選んだ信夫那月さん(長者原)は、「自分の明るさを表現できる人になりたいです。将来の夢は助産師の仕事に就くことです。人との関わりを持つだけでなく、新たな命を預かる仕事なので、今できることを精一杯がんばりたいです」と発表していました。



### スポーツをする子どもの食事を学ぶ

1月21日、中央公民館で(同)ジャングルグリーン代表社員の草苺大悟氏を講師に迎え、「スポーツをしている子どもに必要な食の知識」という演題で、家庭教育講演会を開催しました。

当日は、町スポーツ少年団の保護者など50名が、スポーツをする子どもたちの日常の食事や練習・試合前後の食事等について学びました。参加者の一人は、「できることからすぐに始めたいと思います」と感想を話してくれました。



### 沖縄からよくきてけたにや〜

1月18日、沖縄中部広域市町村圏の62小学校の5年生67名が、舟形小学校を訪れました。これは、最上広域市町村圏事務組合が毎年実施している派遣交流事業の一環です。平成元年に始まり、最上地域からは夏に沖縄へ訪問、冬は沖縄の児童が最上地域を訪れています。

今回は、舟形小学校が受け入れ先となりました。児童たちは雪遊びのほか、鮎等の町の食材を活かした給食などを一緒に楽しみ、交流していました。



### 小学校から集学校へ

1月14日、リングロー(株)が旧長沢小学校に整備を進めている「長沢集学校」の改修工事が始まるのを前に、約20名の町民が集まり、昔の思い出を語りながら、校舎への感謝の気持ちや集学校への期待を、改修前の職員室の壁に次々と書いていきました。

同社社長の碓 敏之さんは「長沢小学校を思い出せるような形で校舎を活用し、みなさんと新しい思い出を作っていきたいです」と話していました。長沢集学校は来春4月にオープンする予定です。



### 男性のための料理教室

1月13日、男性のための料理教室が保健センターで行われました。参加者9名は、減塩と生活習慣病予防について学んだ後、町食生活改善推進員のみなさんから指導を受けて調理実習に挑戦しました。この日のメニューは「ミルフィーユ味噌カツ」と「ほうれん草の中華風炒め」、「減塩みそ汁」の3品です。

参加者の一人は「普段はだいぶ濃い味付けで作っているとわかりました」と感想を話してくれました。



### 豪雪対策本部を設置

1月11日からの大雪により町内における積雪深が140cmに達したことから、町では、町民の安全を確保するため「舟形町豪雪対策本部」を1月16日に設置しました。今後も断続的に降雪が予想されることから、十分な安全対策を行なってください。

【町内の主な被害】 1月19日現在

- ・除雪作業中に負傷(2名)
- ・車庫倒壊(3棟)
- ・パイプハウス等が全半壊(16棟)



## 舟形らず！全員集合

12月26日、第17回山形ふるさとCM大賞が山形テレビで放送されました。舟形町は、新庄南高校3年生の沼澤 南さん(一の関)が監督を務め、「舟形らず！全員集合」のタイトルでCMを制作。家に人が集まってくる様子、地域のつながりや温かい町民性を表現しました。

入賞はなりませんでしたが、審査委員長からは「人の温かさを表現している、良いCMだと思います」との講評をいただきました。



## 舟形町の歴史と歩み

12月22日、舟形大人塾2016公開講座が中央公民館で行われました。講師に元県立博物館長の太友義助氏を迎え、縄文時代から現代に至るまでの町の歴史について学びました。

「文化財が語る郷土の歴史」と題し、縄文時代の小国川流域、中世の猿羽根楯と長沢楯の役割、近世の戊辰戦争舟形口合戦などについて講演。約20名の参加者は、歴史をひも解く話に熱心に聞き入っていました。



## いきいき百歳体操を普及

12月6日、いきいき百歳体操サポーター養成講座の修了式が中央公民館で行われました。いきいき百歳体操は、国や県が地域介護予防活動として推奨している体操で、高齢者がいつまでも元気に過ごすせうにと町が展開しています。計3回の連続講座には16名が参加しました。

サポーターは、地域のみなさんへ体操の仕方の指導や普及を行いながら、ご近所同士の見守りと支え合いの拠点づくりを行なっています。



## 夫妻で彩る絵本ライブ

12月3日、メオト読み絵本ライブが中央公民館で開催されました。講師には、「ぱんつくったよ」や「すいかのめいさんち」などの代表作がある、絵本作家の平田昌広・景 夫妻を迎えました。

会場で絵を描きながらのライブは、参加者を巻き込んで大いに盛り上がり、来場した親子など約70名は終始笑顔で楽しんでいました。参加した女性は、「今後も読み聞かせなどで聞く力を子どもたちに教えていきたいです」と話してくれました。



## 大盛況！高齢者フェスティバル

11月25日、舟形町高齢者フェスティバルが中央公民館で開催されました。舟形町老人クラブ連合会と舟形町社会福祉協議会が主催するこのイベント、町老人クラブのみなさんなど約100名が、合唱、踊りを披露したほか、勝ひろし氏によるマジックショーも行われました。

会場には立ち見が出るほどたくさんの町民が集い、舞台の出演者に合わせて手拍子したり、大声で笑ったりと、心から楽しんでいる様子でした。



## 「SNS」って何だろう？

11月24日と12月1・8日、舟形町教育委員会主催のIT活用基礎講座が、中央公民館で行われました。講師にリングロー(株)舟形支店の甲州 剛氏を迎え、LINEやFacebook等のSNS(ソーシャルネットワークサービス)の正しい使い方を学びました。

29名の参加者からは「メールと電話しか使っていなかったので楽しみにしてきました」、「スマートフォンの操作を教えてもらってよかったです」などの感想が挙がっていました。



## 教育に新聞を活用しよう

11月16日、第12回ふながた家族新聞コンクールの表彰式が中央公民館で行われました。これは舟形町教育委員会と山形新聞社、山形新聞舟形専売所(所長 鈴木高規さん)が、家族の絆を深め、考える力と表現力を身に付けてもらおうと開催しているもので、児童27人が受賞しました。

小学校4年生の部 優秀賞 小西隼平、伊藤大空

小学校5年生の部 優秀賞 豊岡将太、安達心優

小学校6年生の部 優秀賞 八鍬拓大、小西由紀乃



## 鮭の食文化を伝える

11月16日、鮭のさばき方と料理教室が、小国川観光を会場に行われました。教室は、小国川漁業協同組合の鮭部会が企画し、多くの町民に舟形の鮭の食文化を伝えたいと開催されたものです。約10名の参加者は、鮭の三枚おろしを体験したほか、氷頭なますやざっぱ汁の作り方などを学びました。

鮭部会では、子どもたちが鮭に触れる機会の提供などを今後検討していきたいと話していました。



### 学習センターふれあい文化祭

11月15日、生涯学習センターで「学習センターふれあい文化祭」が行われました。文化祭は、長沢地区の活性化を目的に舟形わさわさ会が企画したものです。

リングロー(株)の協力による年賀状作成や、カラオケ喫茶などが行われ、参加者はとても楽しんでいました。



### 車いすで福祉を学ぶ

11月10日、舟形中学校で1年生を対象とした車いす体験が行われました。講師に東北福祉大学助手 高橋俊史氏を迎え、生徒たちは車いすの使い方等について学びました。

この体験学習は、福祉に力を入れている町の取り組みの一環で、足の不自由な方の気持ちを理解するために行われたものです。

生徒たちは、車いすに乗る人と介助者に分かれて乗車を体験。生徒の一人は「乗ってみると怖かったです。介助するときは、より気を遣うようになりました。」と話してくれました。(取材:舟形中学校3年 原田一輝さん)



### 地域を守る新しい力

11月10日、小型動力ポンプ付消防積載車の引渡式が役場で行われました。副町長から舟形町消防団長 加藤憲彦氏へ消防ポンプ車の鍵が引き渡されました。

今回、第2分団第3部(内山)と第4分団第6部(紫山)へ新しい消防ポンプ車が導入されます



### 地域公共交通の未来を考える

舟形町地域公共交通意見交換会が、11月9日に堀内・富長地区、10日に長沢・舟形地区で行われました。各会場では、町営バスや乗り合いタクシー等のより良いあり方について、通院や通学、買い物など、実際の利用を想定した話し合いとなりました。

参加者の一人は「今のバス時刻だと、高校を早退しないと家までたどり着けないことを初めて知りました。」と話していました。





## 寸劇で交通安全を表現

11月7日、町の交通安全教室が堀内生活環境改善センターで行われました。教室では、舟形町交通安全母の会のみなさんが寸劇で交通安全の重要性を訴えました。



## 冬を前に雪対策を確認

11月4日、第2回町内会長会議が中央公民館で行われました。会議では主に、除雪計画や地域で支え合う除排雪について、町から各町内会長に説明が行われました。



## 町の交通安全のために

11月4日、全国共済農業協同組合連合会山形支部から町にカーブミラー4基が寄贈されました。これまで、累計160基が寄贈されており、町の交通安全のために役立てさせていただいています。



## 民間塾始まる

10月31日、舟形中学校で「舟形町わかあゆ塾」がスタートしました。これは、数学の力を重点的に伸ばす取り組みとして、個別指導塾の英智学館(株)に委託にしているもので、主に部活の無い日に補充として行い、生徒たちの目指す進路の実現を目指します。

塾では、希望者が基礎と応用レベルに分かれ、3年生は90分を20コマ、1・2年生は定期テスト前に6コマ開講します。今後、来年度に向け科目増や開始時期を早めること等について検討していきます。



## 珍しいミョウガの赤い実

幅・長沢第2地内で、珍しいしょうがの赤い実が発見されました。赤い実の中に白い皮に包まれた黒いタネが見えます。



## 厚生労働大臣表彰

10月17日、伊藤 宏さん(舟形第4)が、国民健康保険功績者厚生労働大臣表彰を受賞しました。

伊藤さんは、平成元年より27年以上にわたり舟形町国民健康保険運営協議会委員として、健全な国保財政の確立や保険事業の充実など、国保事業の発展に寄与した功績が認められての受賞となりました。



## 地域に根差した郵便局

10月11日、山形県北部地区郵便局長会最上南部会が町長室を訪れました。会からは、役場玄関へのベビーベッドの設置のほか、木製玩具等が町に寄贈されました。



## 新教育委員長を選任

10月3日、中央公民館で教育委員会が開催され、教育委員会委員長 太田二三男氏(舟形第4)が任期満了で退任するのに伴い、新たな委員長に高橋純康氏(富田第2)が選任されました。このほか、委員長職務代理者には木島広人氏(洲崎)が再任。また、会に先立って、沼澤 啓氏(舟形第1)が町長から新しい教育委員に任命されました。

今後、町教育行政の方向性の検討など、幅広い知識での活躍が期待されています。



## 人間ばん馬で盛り上がる

10月2日、第1回舟形町人間ばん馬競技大会がアユパーク 鞍馬大会会場で開催されました。これは、6年前まで開催されていた東北鞍馬競技舟形大会の文化と若者の活気を引き継ぎ、地域全体を盛り上げることを目的したもので、もがみ南部商工会青年部を中心とした実行委員会(委員長 遠藤 寛さん)が、4年間の構想を経て実現しました。

大会には9チームが参加し、騎手が乗ったソリを7人が引っ張り、力を合わせて110m先のゴールを目指しました。



## 人権擁護委員委嘱

10月1日、板垣光昭さん(新堀)が、法務大臣から町の人権擁護委員に再任されました。



### 生活習慣を見直してみよう

9月28日、平成28年度糖尿病予防検診結果報告会が、農村環境改善センターで行われました。講師に山形大学医学部の内科医 大泉俊英氏と眼科医 難波広幸氏を迎え、町での検診結果の報告や健康相談等を行いました。

検診の結果、糖尿病型と判断された町民は男性14.4%(前回9.4%)、女性11.6%(前回8.1%)と、5年前の検診と比較して増加し、年代別では年齢と比例して多くなる傾向が見られました。



### 咲かせよう10年の絆

9月21日、仙台市立五橋中学校の野外活動実行委員など2年生8名が、稲刈り体験に訪れました。刈り取りは、5月に五橋中2年生が田植えをした福寿野の奥山レンタル農園で行われ、管理して下さった奥山政憲さんや地域のみなさんが、窯の使い方や杭掛け方法などを丁寧に指導しました。

稲刈り後には、この温かい交流が10周年を迎えたことを記念して、大山桜2本を農村環境改善センターに植樹しました。



### 日ごろの備えが重要

9月21日、光生園で防災訓練が行われ、災害発生時の入所者の安全確保や避難誘導、消火訓練などが行われました。

自然災害はいつ発生するかわからないため、地域のみななどで日頃から備えをしていきましょう。



### 町の長寿のみなさんを祝う

9月21日、平成28年度敬老祝賀式が中央公民館で行われました。

式では、出席した喜寿のみなさんと金婚を迎えたご夫婦にお祝い品が贈呈されたほか、三味線演奏等の催しが行われました。



### 赤組がんばれ白組がんばれ

9月17日、ほほえみ保育園で運動会が行われました。園児たちは、家族や地域のみなさんが見守る中、一生懸命競技に取り組んでいました。



### 数え99歳の長寿を祝う

9月15日、鈴木谷五郎さん(西堀)宅へ吉村県知事が訪問し、県内の白寿(99歳)を代表してお祝い品が手渡されました。俳句が趣味の鈴木さんは、つや姫を詠んだ「握り飯つや姫にして今年米」などを披露。ぜひ知事室に飾りたいと感激する知事に、句をしたためたものを贈呈しました。

また、16日には、えんじゅ荘で敬老祝賀式が行われ、白寿を迎えた伊藤仁子さん(堀内)に県知事からのお祝い品が贈られました。



### トルコぎきょうが舟形町長賞

9月10日、新庄もがみフラワーフェスティバルの品評会が、ゆめりあ(新庄市)で開催されました。

品評会では、進藤節子さん(富田第2)の出品した色鮮やかなトルコぎきょうが、舟形町長賞を受賞しました。



### 議会で若鮎まつりをPR

9月8日、若鮎まつりの宣伝のため、議員のみなさんと町長や職員全員がまつりのTシャツを着用して、9月定例議会を開催しました。



### 子どもの良いところを見よう

9月6日、町PTA連絡協議会と町青少年育成町民会議の合同研修会が、中央公民館で行われました。山形県家庭教育アドバイザーの太田 優さんを講師に迎え、発達段階に合わせた子どもへの対応や関わり方について学びました。

また、花いっぱい運動の表彰式も行われ、長尾町内会が優秀賞に輝きました。結果は次のとおりです。

(優秀賞)長尾町内会

(優良賞)幅町内会、経檀原町内会



### 専門的な立場から審査

9月2日、新しい固定審査評価委員に渡会春好さん(紫山)が選任されました。任期は3年です。



### 適性や効率性等を監査

9月2日、平成27年度決算審査について、舟形町監査委員から町長へ意見書が提出されました。

これは、会計年度ごとに、決算関係書類について計数の正確性と予算執行の合法性や効率性、財政運営の健全性などを審査するものです。



## 万が一の災害に備えて

8月26日、災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定調印式が行われました。この協定は、大規模災害が起こった場合に高齢者、障がい者、乳幼児や妊産婦等、避難所での生活に特別な配慮が必要な方を、町内の福祉施設等で受け入れるためのものです。

社会福祉法人舟和会(理事長 伊藤 宏さん)と介護老人保健施設徳洲苑(施設長 下野武俊さん)の協力により、町内4施設で約70名の受け入れ体制を整えられました。



## 地域の安全安心のために

8月25日、(公財)日本公衆電話会から町に、防災パンフレット等700部が町に寄付されました。これは、災害伝言ダイヤル171を普及する活動の一環で、地域意の防災訓練などで活用してほしいと話していました。



## 一緒にお茶のみすっぺ

8月23日、ながえもんサロン「お茶のみすっぺ」が堀内生活環境改善センターで行われました。サロンは、舟形町地域おこし協力隊の長江 亨さん(長沢第2)が企画したもので、堀内地区と長沢地区で月1回開催されています。

参加者の一人は「小学校もお店も少なくなって、近所でも顔を合わせる機会が減りました。このような場所があるのは良いことだと思います。」と話していました。



## 舟形で始まる恋

婚活イベント「夏♡恋活～舟形でこの夏...始まる恋～」を8月20・21日に舟形を会場、9月3日東京都内を会場に開催しました。

今年度は、2会場に同じ方が参加する「ホーム・アンド・アウェイ方式」で実施。町内では、野菜収穫体験や縁結びの道でハイキングを行い、東京では、浅草からスカイツリーの散策のほか、カップリングパーティーなどを行いました。最終的に、参加男性8名と女性12名中、6組のカップルが誕生しました。



### 縄文土器でご飯をつくろう

8月20日、縄文体験講座パート2が、舟形町歴史民俗資料館で行われました。今回のテーマは「縄文土器でクッキング」。参加した親子などは、石器を使って食材を切ったり、山菜やキノコの入った「縄文スープ」を土器で煮るなど、縄文人の当時の暮らしを体験しました。

また、鹿や猪肉も串焼きにして試食。参加者は「想像していたよりも、とてもおいしいです。」と舌鼓を打っていました。



### 新山神社祭典

8月19日、新山神社祭典が行われました。祭典では、長沢青年団が威勢よく神輿を担ぎ、町内を練り歩きました。



### 夏の蔵王を駆け抜ける

8月7日、第19回山形県ジュニア駅伝競走大会が、蔵王坊平アスリートヴィレッジで開催されました。大会は5区間(12.4km)を小・中学生の混合チームで走り、タスキをつなぐものです。

真夏の暑い日差しが降り注ぐ中、チーム舟形は懸命にゴールを目指しました。結果は、男子が34チーム中27位、女子が34チーム中28位です。

また、個人のクロスカントリーも行われ、9名が参加。万緑の蔵王を駆け抜けました。



### 舟形ビッグサンダーズ奮闘

6月25・26日、高円宮賜杯第36回全日本学童軟式野球大会(マクドナルド・トーナメント)山形県予選会が開催されました。舟形ビッグサンダーズは第3位に入賞し、第20回東北学童軟式野球大会(宮城県)への出場権を獲得。

8月6・7日の東北大会では、優勝した土淵ボンバーズ(岩手県)に1回戦で0対1と惜敗しましたが、持てる力を振り絞って奮闘しました。

今後の活躍が期待されます



## Old Kyu News(平成28年8月)



### 町長杯ゴルフ大会の募金

8月5日、町のために役立ててほしいと、舟形町ゴルフ協会から25,000円が町に寄付されました。



### ビーナス塾、若鮎塾開講

昨年から舟形中学校で始まった、夏季休業を利用した集中講座「ビーナス塾」。今年は、舟形小学校でも「舟形町若鮎塾」として8月2日、3日に開催されました。

若鮎塾は4年生以上の希望者を対象としたもので、山形大学の学生3名が教育ボランティアとして指導。夏休みの宿題を中心に、子どもたちがわかりづらいところなどを、優しく教えてくれました。

## Old Kyu News(平成28年7月)



### ボランティアで草刈り

7月31日、シルバー人材センター舟形班の会員14名が、老人いこいの家「清流荘」周辺の草刈り等を行いました。



## 修学旅行で舟形へ

7月29日～8月1日、根木名小学校(千葉県)が修学旅行で舟形町を訪れました。これは、町がサマースクールとして受け入れているものです。

児童たち約50名は、川遊びなど夏の舟形を存分に楽しみました。



## 躍進「チーム舟中」

7月23・24日、山形県中学校総合体育大会が県内各地で行われ、熱戦が繰り広げられました。

チーム舟中は、相撲の1部団体で第1位、柔道の階級別個人戦で溝口 葵(長者原)さんが第1位となり、共に全国大会への出場を勝ち取る見事な成績をあげました。

また、相撲1年生個人の部で平賀将義さん(福寿野)が第3位、2年生個人の部では沼澤虹太郎さん(舟形第1)が第5位、3年生個人の部でも斉藤大夢さん(長尾)が第1位、阿部航大さん(福寿野)が第3位に入賞。柔道の階級別個人戦で第2位となった沼澤真緒さん(内山)を含め、東北大会への出場を決めました。

なお、東北・全国大会への出場こそありませんでしたが、軟式野球、ソフトテニス、水泳、陸上、バドミントンでも、精一杯力を出し切りました。



その他の主な大会結果(ベスト8以上)

【軟式野球】ベスト8

【相撲】柏戸杯 第3位 斉藤大夢

【柔道】48kg級 ベスト8 沼澤はる

【陸上】共通走り幅跳び 第5位 叶内愛織



## 小国川で鮎を追う

7月23日と8月20日、小国川で鮎釣り教室が開催されました。澄み渡る青空の下、県内外から訪れた参加者が、初めての鮎釣りを楽しんでいました。



### 子どもたちの教育のために

7月21日、親子上映会 サークル・セレベスから、子どもたちの教育のために使って欲しいと10万円と本12冊が町に寄付されました。

また、ママさんソフトクラブからも42,796円が町に寄付されました。



### 数え年100歳！健康長寿をお祝い

7月20・29日、えんじゅ荘で長寿祝い品賀詞伝達式が行われました。式では、今年数えで100歳を迎えられた大場サワノさん(左:長沢第1)と伊藤貞藏さん(右:大平)へ、町長から舟形町長寿褒賞とお祝いの品が贈られました。

伊藤さんは、「今後も一生懸命生きていきたいと思います。」と、100歳を迎えられての感想を話していました。

今後、ますますのご長寿をお祈り申し上げます。



### 善意でプールをきれいに

7月16日、もがみ南部商工会青年部舟形支部(部長 吉田達也さん)が、舟形小学校のプールのペンキを新しく塗り替えました。この活動は6月10日の商工会の日に、全国一斉に行う慈善事業に合わせて実施されたものです。

舟形支部の有志10名が、朝から作業を行い、プールの入り口がピカピカになりました。みなさん本当にありがとうございます。



### 地域の未来を共に考える

7月11日、長沢公民館で町長を始めとした町三役及び課長等と下長沢連合町内会とのまちづくり意見交換会が開催されました。この日のテーマは、地区内の町有地の活用についてなどで、約40名が参加しました。

また、7日には幅町内会でも開催され、空き家対策についてや高齢者世帯が増加する地区の今後について、活発に意見を交換しました。

なお、この意見交換会は、今後も意見交換したいテーマがある町内会などで開催していく予定です。



### 音楽、食、自然を楽しむ

7月9日、Vibeat.Vol2(バイビート)が農林漁業体験実習館で開催されました。Vibeatは、もがみ地域おこし協力隊Unionが企画したライブイベントです。



### 優雅な時間を過ごす

7月8日、音楽とワインの夕べが農林漁業体験実習館で開催されました。これは、NPO法人東北エコリサイクルネットワーク研究会が主催したものです。

参加者は、ソムリエのおすすめワインを味わい、ピアノ演奏に聴き入りました。



### パソコンなんでも相談室

7月4日、パソコンなんでも相談室が生涯学習センターに開設されました。相談室はパソコンにまつわるちょっとした疑問・質問、相談ごとなどを解決するため、舟形町教育委員会が主催。長沢交流センターを拠点として活動する予定のリングロー(株)が相談に対応いたします。

リングロー(株)の甲州さんは、パソコンを使用する中での疑問や、自分で解決策を調べる方法等の相談が多いと話していました。ぜひお気軽にご利用ください。



### 約60名が楽しく交流

7月3日、長沢地区交流会が長沢交流センターで開催されました。約60の来場者は、早朝から、グラウンドゴルフや舞踊、歌などを楽しんでいました。



### 地域で災害に備える

7月3日、西又地区で夏季非常招集訓練が行われ、万が一に備え、火災防御訓練や水防訓練などを行いました。



### 駅で七夕を楽しもう

7月2日、七夕を楽しむイベント「MILKY WAY」が、舟形町観光物産センターめぐみで行われました。

このイベントはもがみ南部商工会舟形支部、舟形町まちづくり公社と舟形町観光協会が主催したもので、子どもたちが楽しめる催しが盛りだくさん。水ヨーヨーとスーパーボールすくいやお菓子のつかみ取りのほか、夏の遊び「スイカ割り」なども行われました。



### 舟形町駐在所に新駐在

7月1日、舟形駐在所に長谷川雅也巡査部長が赴任しました。長谷川さんは、「地域の安全安心のために頑張っていきたいです。地域のみなさん、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。」と話してくれました。



### 地元食材で調理実習

6月30日と7月1日、舟形中学校の家庭科の授業で、舟形町産アスパラガスを使った調理実習が行われました。これは、舟形町地産地消支援対策事業を活用したもので、地産地消給食の推進のほか、子どもたちに五感で舟形の食を感じてもらうための取り組みの一つです。

この事業は、小中学生の農業に対する理解を深めるとともに、町内産農産物等の消費拡大や、食と農を通じた郷土愛を育むために創設されました。



### 町内河川清掃

6月29日、鮎釣り解禁を前に、町内一斉河川清掃が行われ、約1200名が参加。約3,590kgのゴミを協力して集めました。



### 初めての育児、その前に

6月24日、育児プレスタート講座が保健センターで行われました。この講座は、赤ちゃんが生まれる前に知っておきたい育児のコツを学ぶことが目的で、保健師と助産師に、妊娠中の生活や出産準備の疑問、不安などを率直に聞くことができる場です。

参加者は、赤ちゃんの発達と抱っこのしかた、妊娠・授乳中の栄養と食事、体操のしかた等を学習しました。また、参加者同士の情報交換や、男性の妊婦体験なども行われました。



### 町内外の有志がゴミ拾い

6月19日、(公社)日本青年会議所東北地区山形ブロック協議会が主催する“ふるさとOMIYARIプロジェクト”が町内で行われました。この活動は平成20年から続いている県内の環境美化運動です。

新庄青年会議所では「もがみクリーンチャレンジ」と題し、一般のボランティアを募集。新庄市と舟形町から集まった29名が、舟形駅周辺地域のゴミ拾いを行いました。参加されたみなさん、本当にありがとうございました。



### 赤ちゃんにマッサージ

6月14日、保健センターで「親子♡ふれあいベビーマッサージ講座」を行いました。この講座は、母と子のふれあいを通じた愛着形成や絆づくり、ママ同士の交流等が目的です。また、育児不安について、保健師・助産師に産後2ヵ月から相談できる場としても期待されています。

参加者は、専用のオイルを使ったマッサージのやり方等を助産師から学びながら、赤ちゃんとコミュニケーションを図っていました。



### やんまいにんげろ

6月11日、水稻の生育と人々の無病息災を願い、町内各地で病送りが行われました。



### ちぎり絵を町へ寄贈

6月8日、中野オコウさん(新庄市)から、「早春の月山」ほか、6点の和紙ちぎり絵が町に寄贈されました。



### 熱闘！プロレスが来たよ

6月5日、「超花火プロレス 有刺鉄線電流爆破マッチ」がB&G海洋センターで行われました。(株)ファーストオンステージ(東京都)が開催したもので、いじめの撲滅を掲げた「子どもプロレス教室」等も実施。大仁田厚さんをはじめとしたプロレスラーが繰り広げる闘いに、来場者約300名は熱い声援を送っていました。

来場者の1人は「プロレスを生で見たことは、子どもたちにも良い経験になりました。」と話してくれました。



### 特養建設計画が白紙に

社会福祉法人陵風会(鹿児島県)の特別養護老人ホームの建設計画について、4月下旬から町内各地で説明会を開催。町民からは、地域活性化への期待がある一方で、建設の必要性や人員確保等への不安の声などが多く出されました。それを受け、町が陵風会と協議した結果、計画を白紙に戻すことになりました。

6月定例議会では、町長の報告を受け、白紙撤回について承知するとともに「旧堀内交流センター跡地への利活用計画策定の促進についての決議」が議員発議で提出され、全会一致で可決されました。



### 新緑の中をウォーキング

5月31日、「地域おこし協力隊ながえもんと行く長沢ウォーキング」が行われました。これは、長江亨さん(長沢第2)が企画したもので、参加者7名は生涯学習センターを出発。会話を弾ませながら、新緑の映える県道新庄尾花沢線など約6.4kmを歩きました。

長江さんは「今後も、みなさんと一緒に楽しめるような企画を考えていきたいです。」と話していました。



### おおきなあれ

5月31日、ほほえみ保育園でサツマイモ植えが行われました。園児たちは、秋になったら焼芋にして食べたいと話していました。



### 一緒に食べる楽しさ

内山地区から生まれたカレーの会が、長沢地区でも始まりました。5月26日、第1回長沢カレーの会が生涯学習センターで行われました。





### 人権の花を咲かせよう

5月26日、舟形中学校で人権の花運動が行われました。これは、人権や命の大切さを学ぶため、生徒が花植えなどを行うものです。



### 食べ物を自分でつくろう

5月25日、舟形小学校で4年生43名が大豆の苗を植えました。これは、舟形町食育・地産地消推進計画に基づいた事業です。県の指導農業士である佐藤あや子さん(長尾)を講師に迎え、児童たちは苗植えの方法、自分で食べ物をつくる楽しさや難しさについて学びました。

秋には収穫して豆腐づくりを行うなど、「食べ物を自分でつくって食べること」を通して、食と農業について学習していきます。



### 赤勝て、白勝て

5月22日、舟形小学校で運動会が開催されました。絶好の快晴の中、児童たちは赤組白組に分かれ一生懸命がんばっていました。



### 10年目の五橋中受け入れ

5月18～19日、仙台市立五橋中学校の2年生222名が、野外活動で町を訪れました。今年で10年目を迎えたこの事業、初日は福祉施設等での奉仕活動や、福寿野地域と富田地域で田植え体験などを行いました。

2日目は、そば打ち体験を行い、舟形での活動を満喫した生徒たちは、秋の収穫祭や文化祭での再会を約束して帰路に着きました。民泊を受け入れてくださった81戸のみなさん、地域のみなさん、温かく迎えていただき本当にありがとうございました。



### リングロー(株)住民説明会

5月13日、長沢交流センター活用のための企業による説明会が生涯学習センターで行われ、約40名が参加しました。これは、リングロー(株)より、「パソコンなどのIT機器を活用した交流の場として活用したい」との申し出を受け開催されたものです。2月の第1回説明会よりも、具体的に雇用や事業計画についての提案がありました。

今後、町では地域のみなさんの意見を尊重しながら検討していきます。



### 子どもたちの教育のために

5月11日、(株)大成技術コンサルタントより、図書購入など教育の発展のために活用してほしいと、15万円が町に寄附されました。



### 熊本地震への支援

5月10日、(株)キリウ山形より、被災地支援のための義援金50万円が町長に手渡されました。



### みんなの力で川をきれいに

鮎釣りシーズンを前に、小国川漁業協同組合(組合長 高橋光明さん)が河川清掃隊を結成。5月9日～14日にかけて、赤倉温泉から川の駅(最上町)まで小国川両岸の清掃活動を行い、約11tのゴミを回収しました。

高橋組合長は「昨年の豪雨災害で多くのゴミが堆積しました。本流は漁協が先頭に立ってきれいにするので、支流も含め、みんながきれいな川を守っていきましょう。」と話していました。



### 勝利を目指して

4月29日、舟形中学校運動会が同校グラウンドで行われました。

今年のテーマは「限界突破」。泥だらけになって頑張っていました。



### 新庄最上チーム力走

4月27～29日、山形県縦断駅伝競走大会が開催されました。

2日目となる28日には、舟形町の中継所を通過。大きな声援の中、選手たちは想いをのせたタスキをつないでいました。



### 町内の桜が満開

今年は気温が高く、例年よりも早く桜の見ごろを迎えました。



### 内山青年団が夜桜を彩る

4月下旬、内山青年団(団長 伊藤一行さん)が、内山町内会(会長 伊藤正信さん)と協力して長沢駅前の桜のライトアップを行いました。青年団では、災害が起こった際に備えて、発電機のメンテナンスやエンジンのかけ方など使用方法を伝える機会として、今回のライトアップを企画したとのことです。

半年に1回は発電機の動作点検をするなど、私たちみんなで防災意識を高めましょう。



## 読書活動で文部科学大臣表彰

4月23日、舟形小学校が平成28年度子どもの読書活動優秀実践校として、国立オリンピック青少年総合センター(東京都)で、文部科学大臣表彰を受けました。これは、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める活動について、優れた実践を行なっている学校等に対し、毎年表彰をしているものです。

舟形小は、学校のほか、保護者や地域の協力の中で読書活動を進めていることが認められました。



## 赤ちゃんと絵本を

4月20日、ブックスタートが保健センターで行われました。

参加した親子は、絵本を通じて、たくさんのコミュニケーションをとっていました。



## 選抜中学校野球大会優勝

4月17・24日に行われた、第37回上山青年会議所杯春の選抜中学校野球大会で、舟形中学校野球部が優勝しました。この大会は、上山青年会議所が毎年開催しているもので、昨年秋に県内各地で行われた新人大会の地区優勝校や、強豪チームなど県内13校が招待されました。

舟形中学校は、24日に上山市民球場において行われた決勝戦で、長井市立長井南中学校と対戦。3対0で勝利し、見事栄冠に輝きました。



## 野球の振興と発展のために

舟形中学校野球部にピッチングマシン1台が寄贈され、4月8日に安全祈願祭が同校で行われました。マシンは、(株)大場惣吉商店(会長 大場輝美さん)から「舟形町の野球の振興と発展のために活用してほしい」といただいた寄附等をもとに、3月末に購入したものです。

このマシンの導入によって、少人数でも打撃練習ができるようになるため、より効率的なトレーニングが可能となります。



## 交通安全パネル展示

4月6～15日、春の交通安全県民運動期間に合わせ、交通事故パネルが役場に展示されました。パネルは、最上8市町村を巡回して展示しているもので、舟形町では3年ぶりのことです。

様々な事故を教訓に、私たち一人ひとりが交通安全に対する意識を高めましょう。



## 特製ランドセルカバー

4月6日、舟形小学校入学式で、舟形町建設業協会(会長 伊藤 重さん)と舟形町交通安全母の会から、新入児童36名に特製ランドセルカバーがプレゼントされました。

カバーは、(株)モンテディオ山形のマスコットキャラクター「ディーオ」と、「めがみちゃん」がデザインされています。当日は、ディーオとめがみちゃんがサプライズで登場、児童たちは大きな歓声を上げていました。



## 子どもたちの教育のために

4月6日、もがみ南部商工会舟形支部(支部長 伊藤 宏さん)から、舟形小学校と舟形ほほえみ保育園へそれぞれ2万円ずつ寄付金が贈呈されました。

これは、子ども用品を再利用する「おさがりクラブ」の利用者から寄せられた寄付金と舟形支部からの寄付金を合わせたものです。



## 新しい光生園が完成

4月5日、障がい者支援施設「光生園」の竣工修祓式及び開所式が、移転改築先の舟形第4地区で行われました。この新たな地域の福祉拠点の移転改築工事は平成26年8月の着工から約1年半の歳月をかけ完成し、鉄筋コンクリート構造の3階建てで、居室は110室となっています。以前より大きなりハビリテーション室を確保したほか、家族会室も新設されました。

また、8・9日には内覧会も行われ、約260名の方が来訪されました。



### 長沢駐在所に丹治巡查部長が着任

4月1日、長沢駐在所に丹治直人巡查部長が着任しました。丹治巡查部長は酒田警察署から異動になり、最上地域は今回が初めてとのことです。

「地域の安全安心を守るため、頑張りたいと思います。地域のみなさん、これからどうぞよろしくお願いいたします。」と話していました。